

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

シニアパワーを活用した子育て世代の就労支援創出プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道空知郡上砂川町

3 地域再生計画の区域

北海道空知郡上砂川町の全域

4 地域再生計画の目標

上砂川町は高齢化率が47.7%と道内で2番目に高く、年間出生数は数名と典型的な少子高齢化が進展しており、ここ数年は年間で70人ほどの転出超過と人口減少を招く「縮小スパイラル」に陥っており、人口減少への対応は待ったなしの状況に直面している。

本町の中心地である中央地区には、役場や商店街、金融機関など都市機能が集積しており、町民が賑わう場となっているが、飲食店や多目的な用途が備わる場が少ないとともに、NPOやシルバー人材センターなどボランティア団体が皆無であることから、資格や技能を有する元気な高齢者が活躍できる場がない状況である。

このため、地域で暮らす子育て中の母親の社会参加(就労)を支援することで女性の活躍と子育て支援が図られ、就労中は地域の高齢者が子どもの面倒を見ることで、子どもの顔を見ながら安心して働け、子育てのアドバイスを高齢者から受けるなど多世代交流を図りつつ、地域全体で子育て支援が提供できる場として多世代交流拠点施設を整備し、定住人口の増加と出生数の増加を促進する。

また、開業を希望する方へ専門アドバイザーからビジネスレクチャーを受けることで、新たな産業の創出につなげるとともに、施設内にコワーキングスペースやサテライトオフィスのお試し体験スペースを整備し、域外からの仕事を誘致するなど好循環サイクルの創出を目指すものである。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
出生数の増加 (現時点:8人→H32 年度:16人)	8人	0人	2人	2人

転出超過減 (現時点：72人→ H32年度：57人)	72人	-3人	-3人	-3人
交流カフェ年間利 用者数 (現時点：0人→H32 年度：1,400人)	0人	0人	600人	600人

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
出生数の増加 (現時点：8人→H32 年度：16人)	2人	2人	8人
転出超過減 (現時点：72人→ H32年度：57人)	-3人	-3人	-15人
交流カフェ年間利 用者数 (現時点：0人→H32 年度：1,400人)	100人	100人	1,400人

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

地域で暮らす子育て中の母親の社会参加を支援するためのテレワークセミナーの開催や高齢者による子育て見守り支援が提供できる場として多世代交流拠点施設を整備するとともに、施設内において、開業を希望する方へ専門アドバイザーによるビジネスレクチャーの展開やコワーキングスペースやサテライトオフィスお試し体験スペースを併せて整備する。

また、地域全体で子育て支援を推進するため、ボランティアの育成セミナーを実施するとともに、交流カフェの運営や商店、障がい者福祉施設通所者による農産物等の販売、子育て相談、離乳食講座、レクリエーションなどの開催により、多目的な用途の施設として町民誰もが気軽に立ち寄れる憩いの場を整備する。

町独自の事業として、健康運動指導士による体操教室やDAM通信機械を使用した体と頭の体操教室、認知症に対する関心と理解を深めるための講演会を開催する。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生拠点整備交付金（内閣府）：【A3007】

- ① 事業主体：上砂川町
- ② 事業の名称：多世代交流拠点施設整備 シニアパワーを活用した子育て世代の就労支援創出事業
- ③ 事業の内容

人口減少対策として、若者・子育て世代のニーズを把握するアンケート調査を実施したところ、「仕事との両立が困難」「子育てを手伝ってくれる人がいない」などの意見が多くあったことから、多世代が交流できる拠点施設を整備し、子育て世代の社会参加を支援するためテレワークセミナーの開催により就労支援を図るとともに、就労中は地域の高齢者が子どもの面倒を見ることで、母親の安心と高齢者も生きがいを感じ、自らが「支えられる側」から「支える側」への意識転換が図られ、町民誰もが地域に関わり、魅力ある地域づくりへの参画を促進する。

また、起業者へのアドバイザーとのマッチングやコワーキングスペース、サテライトオフィスお試し体験スペースの整備による産業創出を図るとともに、交流カフェの運営や高齢者・障がい者・認知症者のサロンの開設、農産物や特産品の販売により、交付金に頼らない自立した運営を目指す。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

プロジェクトの運営にあたっては、上砂川振興公社が主体となり実施し、各種スペースの貸室や交流カフェ、農産物、特産品などの売り上げ向上により、本交付金に頼らない経営を5年以内に目指す。

また、女性の感性・目線を活かした観光商品の開発や将来的には子ども食堂を開設するなど、新たな事業の展開により地域に根付いた運営を進める。

【官民協働】

行政においては、町民等の取り組みに対する初期投資などの財政支援やプロジェクトの情報を広く発信するとともに、上砂川振興公社が中心となり、在宅就労支援機関や町内高齢者などと連携し、各分野の強みを発揮した相乗効果によりプロジェクトを展開する。

また、北門信用金庫により、将来的に自立するための経営相談やモデル経営の提供を依頼し、持続可能な運営を官民協働で実施する。

【政策間連携】

起業に意欲のある若者等を支援することで新たな産業の創出により雇用の機会の増加し、移住・定住人口の増加が促進される。加えて、子育て世代の就労機会の創出により豊かな暮らしが実現され出生率の向上が期待できるとともに、スキルアップによる地域産業を担う人材が確保される。

また、高齢者の生きがい対策に寄与するため、健康寿命の延伸や医療費負担が軽減される。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
出生数の増加 (現時点:8人→H32 年度:16人)	8人	0人	2人	2人
転出超過減 (現時点:72人→ H32年度:57人)	72人	-3人	-3人	-3人
交流カフェ年間利 用者数 (現時点:0人→H32 年度:1,400人)	0人	0人	600人	600人

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
出生数の増加 (現時点:8人→H32 年度:16人)	2人	2人	8人
転出超過減 (現時点:72人→ H32年度:57人)	-3人	-3人	-15人
交流カフェ年間利 用者数 (現時点:0人→H32 年度:1,400人)	100人	100人	1,400人

⑥ 評価の方法、時期及び体制

毎年度、KPIの達成状況を取りまとめ、翌年度の6月に産学官金労医で構成される「上砂川町総合戦略等推進委員会」に検証結果報告をまとめ、成果・課題・今後の方向性など必要に応じて事業へ反映させるとともに、

検証結果は町のホームページで公表する。

また、同年9月に議員全員協議会で効果検証を実施する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

① 第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 38,186千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日（5ヵ年度）

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 多世代交流拠点施設を活用した健康増進事業

事業概要：町民全体で子育て世代の支援を推進するため、健康運動指導士による体操教室やDAM通信機械を使用した体と頭の体操教室を実施するとともに、認知症に対する関心と理解を深めるための講演会を開催するなど、高齢者の健康寿命の延伸を図り、シニアパワーを活用したプロジェクトの相乗効果を促進する。

実施主体：北海道空知郡上砂川町

事業期間：平成28年度～平成32年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

毎年度、KPIの達成状況を取りまとめ、6月に産学官金労医で構成される「上砂川町総合戦略等推進委員会」に検証結果報告を行い、成果・課題・今後の方向性などの評価・検証を行うとともに、9月に議員全員協議会において、効果検証を行う。検証結果は町のホームページで公表する。

目標1

出生数の増加については、企画課が4月1日時点で住民課より把握する。

目標 2

転出超過減については、企画課が4月1日時点で住民課より把握する。

目標 3

交流カフェ年間利用者数については、企画課が4月1日時点で利用日誌により把握する。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
出生数の増加 (現時点:8人→H32 年度:16人)	8人	0人	2人	2人
転出超過減 (現時点:72人→ H32年度:57人)	72人	-3人	-3人	-3人
交流カフェ年間利 用者数 (現時点:0人→H32 年度:1,400人)	0人	0人	600人	600人

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
出生数の増加 (現時点:8人→H32 年度:16人)	2人	2人	8人
転出超過減 (現時点:72人→ H32年度:57人)	-3人	-3人	-15人
交流カフェ年間利 用者数 (現時点:0人→H32 年度:1,400人)	100人	100人	1,400人

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、KPIの達成状況を取りまとめ、6月に産学官金労医で構成される「上砂川町総合戦略等推進委員会」に検証結果報告を行い、成果・課題・今後

の方向性などの評価・検証を行うとともに、9月に議員全員協議会において、効果検証を行う。検証結果は町のホームページで公表する。